

バスケットボール戦評記入用紙

大会 平成29年度 埼玉県高等学校バスケットボール新人大会
 日時 平成 30 年 1 月 21 日 日曜日 第 1 試合 Aコート 時刻 10:00
 場所 上尾運動公園体育館 記入者名 中村 敬子

A チーム	得点		得点	B チーム
埼玉栄 高校	<u>46</u>	$\left(\begin{array}{r} 13 - 10 \\ 9 - 16 \\ 12 - 15 \\ 12 - 16 \end{array} \right)$	<u>57</u>	市立川越 高校

<戦 評>

昨日昌平に敗れ、関東大会出場のためには後がない埼玉栄と、山村学園に快勝しその勢いを今日につなげたい市立川越の戦い。

1P 埼玉栄 #5, 7, 11, 12, 13 市立川越 #4, 5, 7, 9, 14 お互いにマンツーマンディフェンスでスタートする。上背に勝る埼玉栄は、#11, 13がリバウンドシュートで得点。得点した後はオールコートでプレスをかけて、ボール運びにプレッシャーをかける。市立川越は、ディフェンスリバウンドを獲得できず、苦しいスタートとなるが、埼玉栄のプレスに対してあわてることなく対応し、#4の落ち着いたシュートについていき、13-10 埼玉栄3点リードで1P終了。

2P 埼玉栄#11の3P、#12のリバウンドシュートとリバウンドを確実に獲得する埼玉栄のペースで試合が進む中、残り5分18-12埼玉栄6点リードのところで、市立川越がタイムアウト。リズムが変わらず残り3分20-14のところでさらにタイムアウトをとる。市立川越は、ディフェンスラインを上げ、プレッシャーを強めたところで、埼玉栄の攻撃がちくはくになり、市立川越は#6, #9の連続得点で波に乗り、残り1分#4のフリースロー2本インで逆転に成功。さらに#4の終了間際の得点で22-26 市立川越リードで前半終了。

3P 埼玉栄#11と市立川越#4がマッチアップしお互いの働きを相殺し、他のメンバーの得点で試合が動いていく。埼玉栄は、#12, 6がリバウンドを頑張り得点していくのに対し、市立川越は、#5, 6が効果的に3Pを決める。埼玉栄のプレスディフェンスに対しても落ち着いて対応し、34-41 リードを広げて3P終了。

4P 最終ピリオドにはいると、今度は埼玉栄#11と市立川越#4の意地の対決。埼玉栄はオフェンスで相手のディフェンスをくずすことができず#11の無理な1対1が増えるのに対して、市立川越はボールも人もよく動き、リズムよく加点していく。最終スコア46-57と市立川越が粘り強く、じりじりと埼玉栄を突き放し、関東大会出場を決めた。